

# 輝城会広報誌

第19号

2026年4月

〇ご挨拶

輝城会グループ代表 西松 輝高

〇「Hey Wiz!」から始まる

ケアの質と効率化への挑戦

「なごみの社」「菜の花館」二十周年の節目に実現した、音声AIによる現場革新

〇予防検診について

北毛地域における予防検診を実施して

林牧場群馬県馬事公苑  
撮影日：2026年1月17日

## ご挨拶

## 輝城会グループ代表 西松 輝高



## 【二〇二五年を振り返って】

二〇二五年は、国際社会・国内社会の両面において、先行きの見通しが立てにくい状況が続いた一年でした。世界に目を向けると、地政学的な緊張が長期化し、国や地域ごとの利害対立が表面化しました。これに加え、保護主義的な政策の動き、インフレの進行、金融引き締めの影響などが重なり、景気の回復と減速が入り混じる不安定な局面が続きました。

特に米国では、「米国第一」を掲げる通商政策が再び前面に出され、関税措置の強化が示唆されました。鉄鋼、EV、半導体といった戦略産業を中心に、貿易摩擦が再燃するのではないかと懸念も高まりました。こうした動きは、企業の投資判断や生産拠点の配置、サプライチェーンの見直しに影響を与え、物流費や原材料費の上昇を通じて、世界的な物価上昇を後押しする要因ともなりました。

国内においても、その影響は避けられませんでした。日米金利差などを背景に円安傾向が続き、エネルギー、食料、原材料といった輸入品の価格が上昇しました。これにより、家計の負担が増えると同時に、事業者にとっても経営コストの増大という形で影響が及びました。賃上げの動きは徐々に広がりを見せたものの、物価上昇が先行する期間が長く、消費者の間では節約志向が強まり、支出を慎重に選別する傾向が目立ちました。

また、人手不足が慢性化している分野では、採用が思うように進まず、賃金水準の引き上げを余儀なくされるケースが増えました。人件費の上昇は固定費の増加につながり、価格転嫁が難しい業態ほど経営への影響が大きくなりました。

船渡市で大規模な山林火災が発生し、広い範囲で住民生活に影響が及びました。また、鹿児島県十島村周辺では群発地震が続き、各地で不安が広がりました。夏から秋にかけては、九州地方を中心とした記録的な豪雨や台風の接近により、浸水や土砂災害などの被害が発生しました。さらに、年末には青森県東方沖を震源とする大規模な地震が発生し、防災意識の重要性が改めて認識されました。

これらの自然災害は、地域の暮らしや経済活動に大きな影響を与えるとともに、非常時にも機能を維持できる社会基盤の重要性をあらためて示すものとなりました。

## 【医療・介護を巡る二〇二五年から二〇二六年の情勢】

このような社会情勢の中、医療・介護分野においても、物価高騰や人件費の上昇が大きな課題となっており、制度の持続可能性を確

保しつつ、現場の実情に即した運営をどのように実現するかが、これまで以上に重要な局面を迎えています。

医療分野では、保険診療という公定価格の仕組みのもとで運営されているため、原材料費や光熱費が上昇しても自由に価格へ反映させることができません。医療材料や医薬品の高騰、外部委託費の増加、賃上げへの対応など、さまざまなコストが積み重なる一方で、収入の伸びは限定的であり、この状況は、地域医療を支える基盤そのものに影響を及ぼしかねない状況となっております。

こうした中で実施された二〇二六年度（令和八年度）の診療報酬改定は大きな節目となりました。物価や賃金の上昇を踏まえ、医療従事者の処遇改善を進める観点から、診療報酬本体は「令和八・九年度の二年平均でプラス三・〇パーセント」という、比較的高い

水準の改定率が示されました。医療現場は、医師や看護職員だけでなく、看護補助者、事務職員など多くの職種が連携して成り立っています。今後は特定の職種に限らず、組織全体として人材を確保し、定着を図ることがますます重要となります。また入院時の食費や光熱水費の基準の見直しなど、医療機関側の費用増への対応が盛り込まれる一方で、患者さんの負担や地域医療提供体制への影響にも十分な配慮が求められます。あわせて、医師の地域偏在への対応、地域医療構想の推進、医療DXの取り組みなど、制度改革も進められています。マイナ保険証の普及や電子カルテの標準化、医療情報の共有は、医療の質と効率を高めるための重要な基盤です。しかし、DXは導入すればすぐに負担が軽減されるものではありません。業務の見直しや職員教育、運用の定着、情報セキュリティへの対応まで含めた継続的な取り組みが不可欠です。一方介護分野では、人材不足がさらに深刻化し、介護従事者の処遇改善が喫緊の課題となりました。通常の三年ごとの介護報酬改定に加え、二〇二六年度には期中改定を行い、全体としてプラス改定とする方向性が示されています。

処遇改善は介護職員に限らず、事業を支える多様な職種へと広げ、在宅サービスを含めた担い手の確保につなげることが重要です。また、ICTや介護DXの推進、業務の標準化や生産性向上に向けた取り組みも進められていますが、制度要件が増えるほど事務負担や投資負担が先行する場面も想定されます。特に、小規模な事業所や人員が少ない現場への支援が、今後一層重要になるでしょう。

### 【輝城会グループの二〇二五年の取り組みと二〇二六年に向けて】

このような環境の中、輝城会グループも二〇二五年は多くの取り組みを進めてまいりました。

沼田脳神経外科循環器科病院では、二月にS I E M E N S社製「五テスラMRI」「MAGNETOM Solar」を導入し、AIOM「Sola」を導入し、AI技術を活用した高画質化と検査時間の短縮により、より精度の高い画像診断が可能となりました。四月には群馬大学脳神経外科より栗原健吾医師が着任し、一次脳卒中センターとしての診療体制強化と、若手医師育成の基盤整備を図ることができました。

栗原医師の着任は、県内の医師配置を検討する「ぐんま地域医療会議」における提案を受け、医師

の確保が特に困難とされる産科・小児科および脳神経外科の手術対応が可能な医療機関が限られている北毛地域において、神経系疾患の受け入れ実績が最も多い沼田脳神経外科循環器科病院へ、群馬大学病院から派遣される形で実現したものです。

八月には病棟の再編を行い、急性期医療を維持しながら、地域包括医療・ケア病棟といった亜急性期機能を取り入れ、地域完結型医療の体制整備を進めました。また、エコノミークラス症候群予防検診についても、沼田・吾妻地域の複数市町村の協力を得て実施し、地域医療への貢献をさらに広げることができました。

沼田クリニックでは、九月にCANON社製十六列CT装置「Aquilion Lightn」を導入し、迅速で安全な検査体制を整えました。

介護事業部門では、一月にかがやき訪問看護ステーションを移転し、運営体制の効率化を図りました。また、特別養護老人ホーム菜の花館は、四月にユニットリーダー研修の实地研修施設として認定され、人材育成拠点としての役割が期待されています。

二〇二六年に向けては、城西ク

リニック二階部分の改築を行い、MRIの増設などを予定しています。介護部門では、吾妻地域における看護小規模多機能施設の事業化を進めていく計画です。

社会の不確実性が高まる中であっても、輝城会グループは、地域医療・介護を支える体制づくりと質の向上に着実に取り組んでまいりました。一方で、物価高騰や人件費の上昇、医療材料費の高止まり、消費税の問題など、医療法人を取り巻く課題は今後も続くと考えられます。

そのような状況においても、私たちが最も大切にすべきものは、「地域の患者さん・利用者さんの健やかな生活を支える」という使命です。困難な時代だからこそ、職員一人ひとりがチャレンジを繰り返しながら成長し、地域から信頼される医療・介護を守ることが、そして発展させていくことが重要であると考えています。

二〇二六年も、職員が力を合わせ、変化に柔軟に対応しながら、地域のために尽力してまいります。本年が皆さまにとって健やかで実り多い一年となりませう、心よりお祈り申し上げます。



# 「Hey Wiz!」から始まる、ケアの質と効率化への挑戦 「なごみの杜」菜の花館二十周年の節目に実現した、音声AIによる現場革新



## ハナストとは？

ハナストとは、介護記録、連絡、申し送りなど、介護スタッフの間接業務をAI×音声入力でサポートするAIアプリです。

なごみの杜「菜の花館」は、二〇二五年に開設二十周年という大きな節目を迎えました。私たちは、二〇二五年四月に「群馬県唯一のユニットリーダー実地研修施設」の指定を受け日々取り組んできましたが、その過程で一つの大きな課題に直面していました。それは、日々の支援内容を「二十四時間シート」に沿ってリアルタイムに記録・連動させることが難しく、現場の負担になっていたことです。また、二〇一九年に開設し、八年目を迎える「ナーシングケア本町通り」においても、複合的なサービス形態であるがゆえに既存のシステムでは対応しきれず、やむを得ず紙媒体での記録を継続せざるを得ない状況が続いていました。

「この課題を解決しなければ、

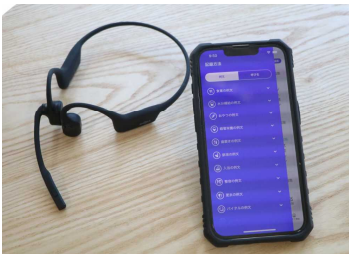
前へ進めない。」

そうした思いの中、介護業界における人材確保の課題や、質の高いケアを効率的に提供するという使命、さらに国が推進するICT・ロボット活用への流れが後押しとなり、私たちは本格的なシステム選定を開始しました。

数ある候補の中から私たちが選んだのは、記録・プラン・請求を一括管理できる「CARE KARTER（ケアカルテ）」と、音声入力AIアプリ「Care Wiz（ケアウィズ）」

「ハナスト」の連携です。

なごみの杜が抱えていた課題を総合的に解決

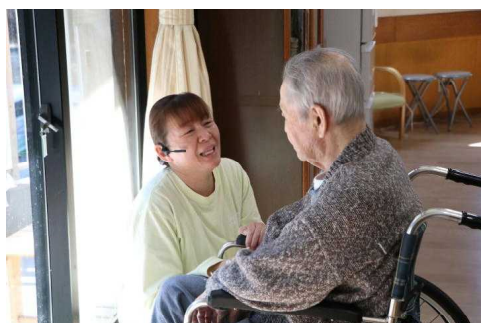


できる点が最大の決め手となりました。

そして二〇二六年二月、いよいよなごみの杜で導入がスタートしました。事前セミナーでは「話すだけで記録できる」と説明を受け、当初は「なんて簡単なんだ」と気軽に考えていました。しかし、実際にインカムを装着してみると記録開始の合言葉である「ハイ！ウィズ（Hey Wiz）」と呼びかけることに少し照れくささを感じたり、言い慣れなかったりと、戸惑いもありました。滑舌の影響で誤変換されて思わず大笑いしたり、時には呼びかけても反応がなく、少し落ち込んでしまうこともありました。それでも、ここで諦めないのがなごみの杜のスタッフです。「ハイ！ウィズ」と語りかけながら、まるで新しい仲間

間と打ち解けるように、試行錯誤を重ねながら使い続けていきました。

そのシンプルさゆえに、変化は驚くほど早く現れました。導入からわずか二週間ほどで、当初は「恥ずかしい」と話していたスタッフも、今ではごく自然に、気軽に「ハイ！ウイズ」と話しかけています。その光景に思わず笑みがこぼれます。現在では、入居者さんのそばに寄り添ったまま、まるで会話の続きのように「ハイ！ウイズ、食事のよう」が弾み、楽しく召し上がっています」と、その場で記録することができています。さらに、スタッフ間の連絡や情報共有のツールとしても活用され、業務

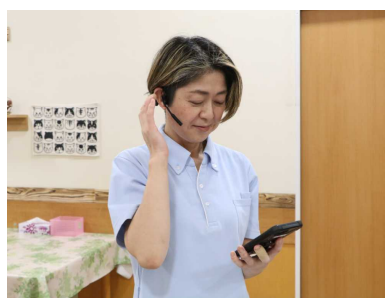


の効率化にも大きく貢献しています。

二十周年というアニバーサリーイヤーに、私たちは単なるシステム導入以上の価値を手に入れました。ICTの力によって生まれた現場の「ゆとり」を、これからさらに質の高いケアへとつなげていきたいと考えています。

文責 特別養護老人ホーム菜の花館

介護主任 野尻 実穂



### 連絡



一つのアプリで記録だけでなく現場スタッフ間の連絡・情報共有が一貫して行えます。連絡内容は、音声としてリアルタイムにスタッフの耳に入ることもちろん、文字情報としてもログが残り、目でも確認することができます。

### 記録



スマホはポケットに入れたまま、利用者さんのお名前と介助の内容を声に出して発話するだけでAIが介護記録に関連する言葉だけを読み取り「記録カード化」。メモしてから打ち込むなどの二度手間を無くすだけでなく記録の抜け漏れを防げます。



ハナスト



CARE KARTE  
ケアカルテ

声で記録したあとは、CARE KARTEと連携します。スタッフの負担は「ハナスト」で軽減しつつ、法定の介護記録・保管などは既存システムと連携することで施設全体の効率化を目指します。

近年の急速な高齢化の進行に伴い、社会保障制度への負担増加が懸念されています。

こうした状況において注目されているのが予防医療であり、輝城会グループでは新潟大学の榛沢教授を中心に北毛地域の各市町村の協力の元、地域による健康格差（脳・心臓・肺に関連した疾患）の調査に取組むため、無償でのエコノミークラス症候群（脳梗塞・肺梗塞・心筋梗塞）の予防検診を2024年9月より開始しました。

年	月	地域	場所	実施人数	有病者数	有病率
2024	9月	中之条町	中之条町保健センター	196	58	29.6%
	12月	東吾妻町	東吾妻町保健センター	100	55	55.0%
2025	3月	昭和村	昭和村保健センター	89	47	52.8%
	5月	みなかみ町	みなかみ町保健センター	124	66	53.2%
	7月	片品村	片品村保健センター	66	43	65.2%
	9月	沼田市	沼田クリニック	120	45	46.5%
	10月	沼田市	沼田クリニック	110	62	

図1 2024年・2025年の各市町村 予防検診実績

検診項目としては、以下の検査を実施

①血圧測定

AVI【Arterial Velocity pulse Index】大動脈のStiffness(※)と末梢抵抗を反映

API【Arterial Pressure volume Index】上腕動脈の局所Stiffness(※)を反映

(※)医学用語では関節や筋肉の「硬さ」を表します。

ここでは血管の硬さを指します。

②超音波検査

下肢静脈：DVT（深部静脈血栓症）・静脈瘤など

頸動脈：プラークの有無（厚さ2.0mm以上）

甲状腺：腫瘍・嚢胞など

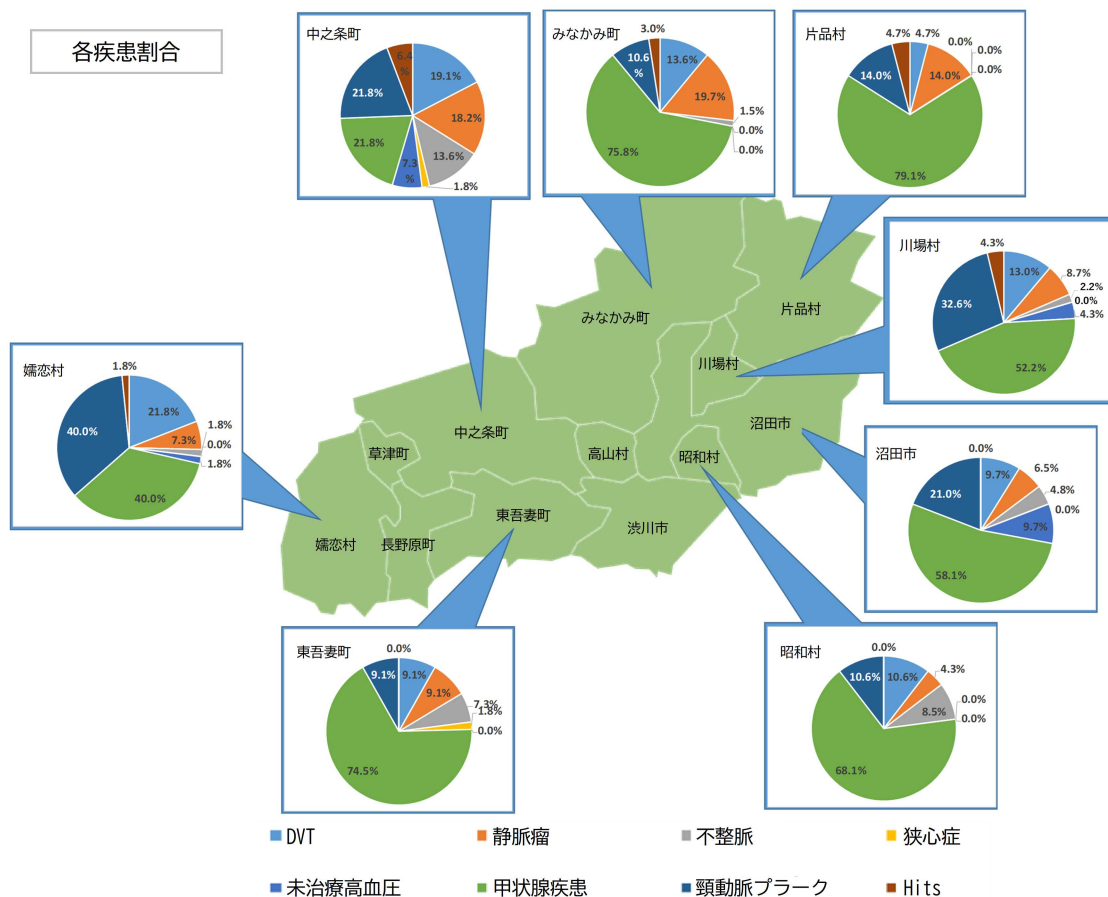


③頸動脈Hits

微小栓子の検出（塞栓症リスクのスクリーニング検査）

検査から結果説明まで1人30分程で終わり、甲状腺疾患を認めた方にはかかりつけ医や近隣の医療機関に精査目的で紹介をさせていただき、受診をしてもらいました。

当初は紹介の際に至らない点が多く、各医療機関の皆様に大変ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、受診の受入れをしていただき、ありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。



今回の結果は、北毛地域8市町村で実施した調査の集計となります。有病率では中之条町で約30%と比較的低い結果でした。また、疾患別割合（全数に対する割合）では多くの市町村で甲状腺疾患を多く認めました。DVTでは各市町村でおおむね10%前後に認められ、みなかみ町では静脈瘤が、嬬恋村ではDVTや頸動脈プラークが比較的多い傾向が見られました。

2026年も引き続き予防検診を実施し、調査を継続していく予定です。

年	月	地域	場所	実施人数	有病者数	有病率
2026	1月	中之条町	中之条町保健センター	104	52	50.0%
	2月	嬬恋村	サーラ嬬恋	116	55	47.4%
	3月	川場村	川場村交流ホール	96	46	47.9%
	4月	長野原町	住民総合センター	—	—	—

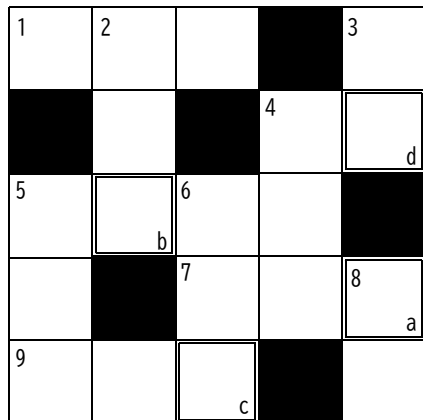
図2 2026年の各市町村 予防検診実績と今後の予定

今後は未実施の市町村を含めて継続的に予防検診を行うことによって、得られた集計データを各市町村に還元し、公衆衛生の向上に寄与するとともに、一端を担うことで北毛地域の方に貢献できればと考えています。

文責 沼田脳神経外科循環器科病院  
臨床検査課 青木 伸行

# クロスワードパズル

タテ、ヨコのカギをヒントに解きます。  
二重線で囲まれた a～d 文字を並べ変えてできる言葉が答えです。



答え

a	b	c	d
---	---	---	---

提供元：クロスワード.jp 改

## タテのカギ

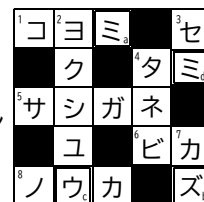
- 不思議な力を持つ女性。
- 近く。かたわら。
- 魚肉を適当な大きさに切ったもの。
- 心の働き。意識のありさま。「○○○字」
- 鳥のやわらかな羽や毛
- 季節。そのことが盛んな頃、シーズン。

## ヨコのカギ

- 割り算で割り切れずに残った数。
- 食肉獣などにある大きくとがった犬歯、または門歯
- 戦いや試合などに勝つこと。
- 秋に木の葉が赤や黄などに色づくこと。
- 所属する政党・党派から離れること

前回の  
クロスワードパズル

答え ミズウミ



## 輝城会グループ

### 医療施設

#### 沼田脳神経外科循環器科病院

〒378-0014 沼田市栄町8  
TEL 0278-22-5052  
(ドック直通)0120-40-2288

#### 沼田クリニック

〒378-0014 沼田市栄町61-3  
TEL 0278-22-1188

#### 沼田クリニック 歯科

〒378-0014 沼田市栄町61-3  
TEL 0278-30-3003

#### 吾妻脳神経外科循環器科

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町760-1  
TEL 0279-68-5211

#### 城西クリニック

〒371-0033 前橋市国領町二丁目13-23  
TEL 027-234-7321

#### 特別養護老人ホーム菜の花館

〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1757-311  
TEL 0278-30-3331  
(ショート・デイ直通)0278-25-3523

#### 菜の花館園原

〒378-0324 沼田市利根町園原870  
TEL 0278-56-9200

#### 訪問看護ステーションまつかぜ

〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1223  
TEL 0278-22-6153  
(居宅直通)0278-25-4401

#### ホームケアまつかぜ

〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1223  
TEL 0278-20-1185

#### ぬまとね総合在宅ケアセンター

〒378-0015 沼田市戸鹿野町238-1  
TEL 0278-23-2526

#### グループホーム沼田公園前

〒378-0042 沼田市西倉内町658  
TEL 0278-30-2201

#### 輝城会重度介護支援センター

〒378-0053 沼田市東原新町1442-7  
TEL 0278-22-1040

#### みんなんち園原

〒378-0324 沼田市利根町園原871  
TEL 0278-56-9210

#### 菜の花館本町通り

〒378-0047 沼田市上之町1149  
TEL 0278-22-5551

### 介護施設

#### あがつま在宅ケアセンター

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1  
TEL 0279-68-5488  
(訪問介護直通)0279-25-8131

#### かがやき在宅ケアセンター

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1  
TEL 0279-26-2680

#### みんなの家なかんじょ

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町967  
TEL 0279-75-4165

#### なかんじょ在宅ケアセンター

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5  
TEL 0279-75-2800

#### かがやき訪問看護ステーション

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5  
TEL 0279-25-8110

#### かがやき訪問看護ステーション前橋

〒371-0034 前橋市昭和町三丁目6-15  
TEL 027-288-0573

#### ナーシングケア本町通り

#### なのはな訪問看護ステーション

〒378-0047 沼田市上之町1149  
TEL 0278-22-3355

輝城会となごみの杜広報誌『輝城会広報誌』では、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。

お名前などの個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿いただいても結構です。  
また、診療に関する個人的な質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

- ・はがきなどの場合 〒378-0014 群馬県沼田市栄町8番地 輝城会グループ 広報
- ・電子メールの場合 public-relations@kijokai.or.jp



<https://kijokai.or.jp/>